

四国コンクリート研究会

第7回総会次第

日時：平成17年5月27日14時30分～16時30分

場所：ロイヤルパークホテル高松（高松市）

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議案
 - (1) 平成16年度事業報告
 - 研究委員会活動報告
 - 講演会・講習会報告
 - 見学会報告
 - (2) 平成16年度の会員の入退会
 - (3) 平成16年度収支決算報告
 - (4) 会計監査報告
 - (5) 四国コンクリート研究会の解散
 - (6) 平成17年度役員（案）
 - (7) 平成17年度事業計画（案）
 - 研究委員会活動計画
 - 講演会・講習会計画
 - 見学会計画
 - (8) 平成17年度収支予算（案）
4. 閉会

コンクリート教育への助成金報告会（16時～16時30分）
フェロセメントカヌーの製作（香川県立多度津工業高等学校）

懇親会（17時～19時）

平成16年度事業報告

1. 幹事会および常任委員会等

以下の会議を行った。

①第1回拡大幹事会（平成17年2月22日）香川大学工学部

③第1回幹事会・常任委員会合同会議（平成17年5月27日）ロイヤルパークホテル高松

2. 研究委員会

以下の研究委員会の研究活動を行った。

①四国地区のコンクリート構造物の非破壊検査・調査に関する研究委員会

[委員長：橋本親典（徳島大学）]

②四国のインフラの将来に関する研究委員会

[委員長：堺孝司（香川大学）]

3. 講演会・講習会

講演会

月 日：平成16年8月10日

場 所：香川大学 地域開発共同研究センター

テーマ：「四国のインフラの将来と課題」に関する講演会II

講 師：●大西 大介〔株式会社カナック 代表取締役社長〕

『変わらざるを得ない建設業』

●木下 賢司〔国土交通省四国整備局企画部長〕

『社会資本整備の未来』

参加者：60名

講習会

月 日：平成16年10月27日

場 所：ウエルシティ高松

テーマ：「フレッシュコンクリートの技術の現状」に関する講習会

講 師：●水口裕之〔徳島大学〕

『スランプを取り巻く現状』

『フレッシュコンクリートのモデル化および充てん解析技術の現状と課題』

●橋本親典〔徳島大学〕

『締固め性能照査方法』『新しいコンクリート評価試験方法について』

●浦野真次〔清水建設〕

『フレッシュコンクリートの品質変化』

『単位水量の試験方法に関する最近の動向』

参加者：58名

4. 見学会

月 日：平成16年11月10日

場 所：高知道（新宮IC～大豊IC間）4車拡幅工事現場

参加者：16名

5. JCI「コンクリートテクノプラザ2004」出展

月 日：平成16年7月7～9日

場 所：高知文化プラザかるぽーと・ホテル日航高知旭ロイヤル

6. 四国地域の工業高校・工業高等専門学校におけるコンクリート教育への助成金

テーマ：フェロセメントカヌーの製作

学校名：香川県立多度津工業高等学校

先 生：尾崎秀典 教諭

7. その他

1) 四国コンクリート研究会のホームページの充実を図った。

2) 平成16年版会員名簿を発刊した。

平成16年度 会員の入退会

入会 法人会員 ファルコン 株式会社

個人会員 尾嵯 秀典（香川県立多度津工業高等学校 土木科）
公文 敏浩（株式会社 白石 四国支店）
高岡 善樹（株式会社 建設材料試験所 技術部）
吉川 敏明（株式会社 建設材料試験所 技術部）

退会 法人会員 香川トクヤマ(株)徳島工場

株式会社 建設材料試験所 技術部

高知県中央地区生コン共同組合

JFEスチール(株)西日本製鉄所

住友金属鉱山(株)別子事業所 設備技術センター

大和生コンクリート工業 株式会社

(株)トーニチコンサルタント四国事務所

日本鋼弦コンクリート 株式会社 高松営業所

東サヌキ生コンクリート共同組合

株式会社富士建設コンサルタント

個人会員 植田 潤（東洋工業株式会社 本社開発室）

上野 勝（高知工科大学 工学部社会システム工学科）

田中 嘉雄（高知県生コンクリート工業組合）

崎山 春繁（崎山生コンクリート工業 株式会社）

松島 学（香川大学）

宮地日出男（高知県生コンクリート工業組合）

吉田 秀典（香川大学）

会員数 161 人（平成17年5月27日現在）

内訳 法人会員 86 社

個人会員 54 人

特別会員 21 団体

平成16年度 収支決算書

収 入				支 出					
費 目	予算額	決算額	差 額	費 目	当初予算額	補正額	補正予算額	決算額	差 額
会費 法人	1,040,000	970,000	△70,000	総会	200,000	0	200,000	101,360	98,640
会費 個人	114,000	112,000	△2,000	幹事会	50,000	0	50,000	28,813	21,187
前年度 繰越金	2,778,025	2,778,025	0	常任 委員会	200,000	0	200,000	0	200,000
預金利息		45	45	通信費	100,000	0	100,000	78,895	21,105
報告書 売上		24,000	24,000	講演会・ 見学会	300,000	0	300,000	330,750	△30,750
講習会		174,000	174,000	消耗品費等 事務雑費	100,000	0	100,000	55,920	44,080
				事務費	120,000	0	120,000	120,000	0
				ホームページ 管理費	50,000	0	50,000	50,000	0
				研究委員 会管理費	400,000	0	400,000	477,753	△77,753
				コンクリート 教育助成金	100,000	0	100,000	100,000	0
				会員名簿 発行費	60,000	0	60,000	0	60,000
				JCI出展	600,000	0	600,000	624,567	△24,567
				予備費	1,652,025	126,045	1,778,070	0	1,778,070
計	3,932,025	4,058,070	126,045	計	3,932,025	126,045	4,058,070	1,968,058	2,090,012
							次年度繰越金	2,090,012	

平成16年度四国コンクリート研究会の会計は適正であることを認める。

監査日：平成17年5月25日 会計監事

唐渡法保

藤村 勇



四国コンクリート研究会会則

1. 目的

四国コンクリート研究会（以下研究会という）は、コンクリート技術と社会基盤整備に関する研究、調査、情報交換を行い、四国の発展に寄与することを目的とする。

2. 事業

研究会は、上記の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1) コンクリート技術と社会基盤整備に関連する問題の研究、調査
- 2) 講習会、講演会、研修会、見学会等の開催
- 3) 国内および国外の学協会関係機関との研究連絡
- 4) 刊行物の企画編集等
- 5) その他目的達成のために必要な事項

3. 研究会の構成

- 1) 研究会は個人会員、団体会員、特別会員および顧問若干名を以て構成する。
- 2) 研究会には会長1名、前会長および常任委員30名程度（幹事5名程度を含む）および会計監事2名をおく。なお、必要のあるときには副会長をおくことができる。

4. 常任委員会

- 1) 常任委員会は、会長、副会長、前会長および常任委員を以て構成する。
- 2) 常任委員会は、研究会の事業の計画、立案等を行い、研究会の円滑な運営を図るものとする。

5. 幹事会

- 1) 幹事会には、幹事長および副幹事長をおくことができる。
- 2) 幹事会は、会長を補佐し、研究会および常任委員会の会務を処理する。

6. 役員任期および選出

- 1) 会長の任期は2年とする。ただし、1回の再任は妨げない。
- 2) 常任委員の任期は2年とする。ただし、研究会の運営上必要と認められたときは、任期満了委員を再任することができる。
- 3) 任期半ばで常任委員が交代するときは、後任委員の任期は前任者の任期を引き継ぐものとする。
- 4) 会計監事の任期は2年とする。
- 5) 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 6) 会長は、常任委員会において候補者として推薦され、総会において承認を得る。
- 7) 会計監事は、会長が推薦し、総会において承認を得る。
- 8) 顧問は会長が指名する。
- 9) 常任委員は、会員の中から会長が指名する。
- 10) 副会長を選出する場合には、常任委員の中から会長が指名する。
- 11) 幹事は、常任委員の中から会長が指名する。
- 12) 幹事長および副幹事長を選出する場合には、常任委員の中から会長が指名する。

7. 委員会の設置

研究会は、事業を遂行するために必要あるときは委員会を設け、特定の事項について研究、調査等を行うことができる。なお、委員会の委員長は、原則として常任委員の中から選ばれる。ただし、常任委員以外から選出されることを妨げない。この場合には、常任委員に加えるものとする。

8. 研究会の運営

- 1) 研究会の事業計画および事業報告の承認は総会にて行うものとする。
- 2) 総会および常任委員会は、会長が召集する。
- 3) 会長は、必要に応じて、文書をもって委員の意見を徴し、総会の開催にかえことができる。
- 4) 総会は、原則として年1回開催する。
- 5) 常任委員会は、必要に応じて随時開催する。
- 6) 幹事会は、必要に応じて随時開催する。

9. 会費

- 1) 研究会は、その運営のために年会費を徴収する。なお、特別会員はこの限りではない。
- 2) 個人会員の年会費は、2千円とする。
- 3) 団体会員の年会費は、一口1万円とする。

10. 会則の変更

この会則の変更は、総会で過半数の賛同を得て行う。

付則

1. この会則は、平成11年7月28日開催の第1回総会において承認の後、施行する。
2. 初代会長および常任委員の任期は、平成11年7月28日より始まり、平成13年度の総会までとする。

四国コンクリート研究会 平成17年度役員(案)

- 顧問
 - 岡村 甫 (高知工科大学)
 - 河野 清 (徳島大学名誉教授)
- 会長
 - 堺 孝司 (香川大学工学部 安全システム建設工学科)
- 副会長
 - 草薙 悟志 (株式会社四電技術コンサルタント 土木技術部)
- 前会長
 - 水口 裕之 (徳島大学工学部 建設工学科)
- 幹事
 - 伊藤 友喜 (国土交通省四国地方整備局 企画部技術管理課)
 - 氏家 勲 (愛媛大学工学部 環境建設工学科)
 - 島 弘 (高知工科大学工学部 社会システム工学科)
 - 橋本 親典 (徳島大学工学部 建設工学科) (名簿担当)
 - 藤島 幸年 (日本道路公団四国支社 工務課)
- 常任委員
 - (1) 大学・高専
 - 天羽 和夫 (阿南工業高等専門学校 建設システム工学科) (講演会担当)
 - 大内 雅博 (高知工科大学工学部 社会システム工学科)
 - 竹下 治之 (高松工業高等専門学校 建設環境工学科)
 - 中田 慎介 (高知工科大学工学部 社会システム工学科)
 - 長友 克寛 (高松工業高等専門学校 建設環境工学科)
 - 堀井 克章 (阿南工業高等専門学校 建設システム工学科)
 - 横井 克則 (高知工業高等専門学校 建設システム工学科) (HP担当)
 - (2) ゼネコン・PC関係
 - 秋月 伸治 (三井住友建設株式会社 四国支店)
 - 内藤 匠 (鹿島建設株式会社 四国支店)
 - 藤井 禎 (清水建設株式会社 四国支店土木技術部)
 - 真鍋 忠晴 (株式会社穴吹工務店 研究開発部)
 - (3) コンサルタント
 - 藤井 友行 (復建調査設計株式会社)
 - (4) 生コン・セメント・混和剤・製品
 - 一宮桂一郎 (徳島県生コンクリート工業組合)
 - 上田 泰生 (高知県生コンクリート工業組合)
 - 川原 勝 (香川県生コンクリート工業組合)
 - 崎山 春繁 (愛媛県生コンクリート工業組合)
 - 吉川 俊彦 (株式会社ポリリス物産 高松営業所)
 - 松山 哲也 (日本興業株式会社 開発部 LC 開発設計室)
 - 山下 純成 (住友大阪セメント株式会社 四国支店)
 - (5) 官庁・公団・電力・研究所
 - 安藤 幹也 (日本道路公団四国支社 高松技術事務所) (見学会担当)
 - 石井 光裕 (四国電力株式会社 土木建築部)
 - 角崎 巧 (香川県土木部 技術企画課)
 - 金沢 敏雄 (徳島県県土整備部 建設管理課)
 - 高崎 信三 (国土交通省四国地方整備局 四国技術事務所) (見学会担当)
 - 中島 俊彦 (高知県土木部 土木企画課)
 - 藤川 典孝 (独立行政法人水資源開発機構 吉野川局)
 - 細谷 重勝 (国土交通省四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所)
 - 三好 次男 (愛媛県土木部 土木管理課 技術企画室)
 - 横田 優 (株式会社四国総合研究所 土木技術部)
- 会計監事
 - 唐渡 法保 (山宗化学株式会社 大阪支店高松駐在事務所)
 - 藤村 勇 (株式会社間組 四国支店土木部)

平成17年度事業計画（案）

1. 研究委員会

新たに研究委員会を設置して調査研究活動を行う。

2. 講演会・講習会・見学会等

講演会、講習会、見学会等を適宜実施する。

3. 四国地域の工業高校・工業高等専門学校におけるコンクリート教育への助成金

四国地域の工業高校・工業高等専門学校において、コンクリートを使った教育・研究の支援を行う。ただし、成果報告として、総会およびHP上において教育・研究成果の発表を行ってもらおう。

4. 平成17年版会員名簿の発刊

平成17年度 収支予算書(案)

(円)

収 入		支 出	
費 目	金 額	費 目	金 額
会費 団体(86社)	950,000	総会	200,000
会費 個人(54人)	108,000	幹事会(3回)	50,000
前年度繰越金	2,090,012	常任委員会(2回)	200,000
		通信費	100,000
		講演会・見学会費	300,000
		消耗品費等事務雑費	100,000
		事務費	120,000
		ホームページ管理費	50,000
		研究委員会費	400,000
		ｺﾝｸﾘｰﾄ教育助成金	100,000
		会員名簿発刊費	60,000
		予備費	1,468,012
計	3,148,012	計	3,148,012